議案第 4 号

瑞穂町印鑑条例の一部を改正する条例

上記の議案を提出する。

令和 2 年 3 月 2 日

提出者 瑞穂町長 杉 浦 裕 之

(提案理由)

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律（令和元年法律第 37 号）の施行に伴い、条例を改正する必要があるので、本案を提出する。

瑞穂町印鑑条例の一部を改正する条例

瑞穂町印鑑条例（昭和 60 年条例第 2 号）の一部を次のように改正する。

第 3 条第 2 項第 2 号を次のように改める。

(2) 意思能力を有しない者（前号に掲げる者を除く。）

第 7 条第 2 項中「記録されている」を「記載（法第 6 条第 3 項の規定により磁気ディスク（これに準ずる方法により一定の事項を確実に記録しておくことができる物を含む。以下同じ。）をもって調製する住民票にあっては、記録。以下同じ。）がされている」に改める。

第 8 条第 3 号中「（法第 6 条第 3 項の規定により磁気ディスク（こ

れに準ずる方法により一定の事項を確実に記録しておくことができる物を含む。以下同じ。)をもって調整する住民票にあつては、記録。以下同じ。)」を削る。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

瑞穂町印鑑条例 新旧対照表

新	旧
<p>第1条及び第2条 略 (登録資格)</p> <p>第3条 略</p> <p>2 略</p> <p>(1) 略</p> <p><u>(2)意思能力を有しない者(前号に掲げる者を除く。)</u></p> <p>第4条から第6条 略 (登録の制限)</p> <p>第7条 略</p> <p>2 町長は、前項第1号及び第2号の規定にかかわらず、外国人住民(法第30条の45に規定する外国人住民をいう。以下同じ。)のうち非漢字圏の外国人住民が住民票の備考欄に<u>記載(法第6条第3項の規定により磁気ディスク(これに準ずる方法により一定の事項を確実に記録しておくことができる物を含む。以下同じ。))をもって調製する住民票にあっては、記録。以下同じ。))がされている氏名の片仮名表記又はその一部を組み合わせたもので表されている印鑑により登録を受けようとする場合は、当該印鑑を登録することができる。</u></p> <p>(印鑑登録原票)</p> <p>第8条 略</p> <p>(1)(2) 略</p> <p>(3)氏名(氏に変更があった者に係る住民票に旧氏の記載_____がされている場合にあっては氏名及び当該旧氏、外国人住民に係る住民票に通称の記載がされている場合にあっては、氏名及び当該通称)</p>	<p>第1条及び第2条 略 (登録資格)</p> <p>第3条 略</p> <p>2 略</p> <p>(1) 略</p> <p><u>(2)成年被後見人</u></p> <p>第4条から第6条 略 (登録の制限)</p> <p>第7条 略</p> <p>2 町長は、前項第1号及び第2号の規定にかかわらず、外国人住民(法第30条の45に規定する外国人住民をいう。以下同じ。)のうち非漢字圏の外国人住民が住民票の備考欄に<u>記録されている氏名の片仮名表記又はその一部を組み合わせたもので表されている印鑑により登録を受けようとする場合は、当該印鑑を登録することができる。</u></p> <p>(印鑑登録原票)</p> <p>第8条 略</p> <p>(1)(2) 略</p> <p>(3)氏名(氏に変更があった者に係る住民票に旧氏の記載<u>(法第6条第3項の規定により磁気ディスク(これに準ずる方法により一定の事項を確実に記録しておくことができる物を含む。以下同じ。))をもって調整する住民票にあっては、記録。以下同じ。))</u>がされている場合にあっては氏名</p>

(4)から(7) 略
第9条から第23条 略

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

及び当該旧氏、外国人住民に係る住民票
に通称の記載がされている場合にあつて
は、氏名及び当該通称)

(4)から(7) 略
第9条から第23条 略